

令和6年8月20日開催

未来創造・教育力向上特別委員会

委員長報告

令和6年9月定例会

委員長 前原博孝

去る8月20日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「校外教育（大貫海浜学園・水上少年自然の家）に係る教育局内における検討結果について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

令和3年度に実施された外部評価委員会において、施設維持費等の観点から校外教育の見直しを求める指摘を受けたことに加え、校外教育を取り巻く環境が大きく変化していることから、教育局内で検討委員会を立ち上げ、将来を見据えた校外教育の在り方について検討を行うことになったとのこと。

検討結果としては、大貫海浜学園については、令和8年度から3年程度の移行期間を設け、現施設の使用は令和10年度末までとし、令和11年度からは現施設を使用しない新たな実施方法による校外教育への移行を目指すとし、水上少年自然の家については、現在の実施方法を維持しつつ、築50年を迎える令和24年度末までに、大貫海浜学園と同様に新たな実施方法での校外教育への移行を目指すとしたとのこと。

大貫海浜学園の新たな実施方法については、県内の他市町村における校外教育の実施方法を調査、市内小学校各校からの意見聴取、財源等を踏まえた実施可能性の検討を進めていく予定であるとのことでありました。

以上のような説明に対して、現在の実施方法における課題について問われ、これに対して、大貫海浜学園においては、気候変動の影響により夏季の実施が困難であり海の体験ができず、また、水上少年自然の家においては、沢沿いのハイキングコースが利用できないため、舗装路を利用しているなど、従来の活動に様々な制限が生じているとのことでありました。

このほか、新たな実施方法における保護者負担への影響について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の2「GIGAスクール構想第2期の推進について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

国が掲げるGIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度から端末等を整備し学校現場での活用も進んでいるなか、国からGIGAスクール構想第2期を見据え、端末の更新に係る費用に対し、GIGAスクール構想加速化基金を設置し、支援を継続することが示されたことから、第2期として位置づけられた令和6年度から令和10年度において、計画的な端末更新及び予備機の整備を行うとのこと。

同基金については、学習用コンピューターの整備または更新に要する経費を補助対象とし、文部科学省が示す策定要領に従い、端末の日常的な利活用に係

る計画等を策定し公表することなどが補助要件として示されているとのこと。

策定が必要な計画については、端末整備・更新計画や、ネットワーク整備計画などの4種類の計画から構成されており、令和6年9月中に各種計画を市ホームページで公開するとのこと。

今後のスケジュールとしては、9月市議会定例会で財産の取得議案を提出し、本年度3学期からの利用開始に間に合うよう整備を進めていくとのことでありました。

以上のような説明に対して、購入を予定している更新用端末に対するGIGAスクール構想加速化基金からの補助額について問われ、これに対して、取得価格6億9,520万円のうち3億5,566万6,000円が補助額であり、残額が市の負担であるとのことでありました。

このほか、教員端末のスペック不足への対応について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の3「いじめ根絶に向けた取り組み状況について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

令和5年度川口市いじめから子どもを守る委員会の活動状況については、面接相談を9回、調査・調整活動を1回実施し、定例会を12回開催したほか、学校現場でのいじめの早期発見及び初期対応能力の向上を図るため、委員と教職員との交流会を3回開催したとのこと。

いじめ根絶に向けた取り組みについては、いじめ問題対策協議会を開催したほか、生徒指導担当指導主事が各学校からの要請に基づき、ニーズに応じた訪問研修を行うなど、いじめ問題に係る学校の対応に関する指導・助言を行なっているとのこと。

いじめ問題に関する調査状況については、6事案について報告があり、4事案において、いじめ問題調査委員会が設置され、そのうち1事案は終結し、3事案は調査継続中であるとのこと。残る2事案は、保護者からいじめ問題調査委員会の設置を希望しない旨の回答があったが、そのうち1事案については可能な範囲での調査を予定しているとのことでありました。

以上のような説明に対して、いじめ対応についての交流会への出席者が少ない理由について問われ、これに対して、小規模なディスカッションを中心とした内容であったことが理由として挙げられるとのことでありました。

このほか、いじめによる欠席が続く児童生徒への対応について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

以上で報告を終わります。